

研究主題 社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する社会科の学習を通して～

I 団体の概要

昭和26（1951）年の発足から70年間以上続く歴史ある小学校社会科の研究団体です。現在、第3学年から第6学年まで四つの研究部会に分かれて、社会科授業の実践研究をしています。教材開発、指導方法の工夫、評価の充実等を図りながら、各学年部会（第3～第6学年）で年2～3回ほどの研究授業を中心に、これからの社会科授業のあり方について研究を深めています。令和5年11月実施予定の全小社研全国大会東京大会（4会場で実施）に向けて連携・準備を進めています。

【都小社研ホームページおよび二次元コード】

<https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350008>



II 研究のねらい

社会的事象の見方・考え方を働かせながら、児童主体の問題解決的な学習を展開し、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を統一的に育む実践を積み重ね、主題および理論の充実を図る。

III 研究の内容

○教材の開発や教材の分析

- ・東京のよさを再認識し、都民として愛着がもてる東京らしい教材
- ・人々の生活や社会的事象の関連について、共感的に迫り、見方・考え方を働かせる教材
- ・人の働きを共感的に捉える教材
- ・社会の課題を捉え、発展や関わり方を考える教材

○研究理論に基づいた授業づくり

- ・主体的に問いを追究する工夫
- ・社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫
- ・学びを確かにする評価の工夫

○各学年部会

【3年部会】

自分と地域社会とのつながりを意識しながら問いをつかみ、見通しをもって主体的に追究し、地域社会の一員として自分にできることを考える授業づくりに取り組んでいます。

【4年部会】

東京都のよさや特色を生かした教材を工夫・開発し、問いをもち、見通しや振り返りを大切にしながら、社会的事象の意味やこれからの関わり方を考える授業づくりに取り組んでいます。

【5年部会】

我が国の国土や産業について、問題意識を高めて問いを見だし、解決の見通しをもって内容や方法を選択したり対話を充実したりしながら追究し、多角的にこれからの社会の発展を考える授業づくりに取り組んでいます。

【6年部会】

政治、歴史、国際社会について、子供自らが問いをもち、見通しをもって主体的に追究し、多面的・多角的に考え、議論しながら考えを深めていく授業づくりに取り組んでいます。

【今後の大会予定】

令和5年度 全国小学校社会科研究協議会研究大会東京大会

日時: 令和5年 11月9日(木)～10日(金)

場所: 浅草公会堂(11/9)

11/10 新宿区立四谷小学校 小金井市立小金井第一小学校

11/10 中央区立日本橋小学校 世田谷区立代沢小学校

Ⅳ 研究の成果と課題

<成果>

○地域の特色を生かした東京らしい教材を開発し、主題の実現に迫ることができた。

○学習指導要領の分析等を踏まえ、単元の構想を作成した。そして、それを基に、見方・考え方を働かせ、主体的な学びを促す指導計画を作成し、授業への具現化を図ることができた。

○令和5年度全小社研東京大会を見据え、各部会の垣根を超えた「オール東京」の体制を確立し、研究の推進を図ることができた。

<課題>

●更なる理論の明確化と、より一層の授業への具現化の推進

<連絡先>

団体名		東京都小学校社会科研究会
代表者	所属	板橋区立上板橋第四小学校
	職氏名	校長 和田 幹夫
	連絡先	03-3932-6317
事務局	所属	青梅市立新町小学校
	職氏名	校長 塚田 直樹
	連絡先	0428-31-0268